

平成30年度 広島県校友会定期総会

令和元年5月26日（日）午後2時から、広島市中区のANAクラウンプラザホテル広島3階「カトレア」において、広島県校友会第84回定期総会が開催されました。小島 隆 県校友会専務理事（69回）の司会進行により、甲野峰基県校友会副会長（66回）の開会の辞に引き続き、物故会員への黙祷が行われました。その後、議長に上川克巳会員（80回）、副議長に小松大造会員（81回）が選出され、会議宣告が行われました。

<会長挨拶> 森田行雄県校友会会長（65回）

甲野副会長が次期広島県歯科医師会会長予備選挙に当選しました。

平成31年2月16日に行われた都道府県校友会会長会議ならびに校友会第132回定期総会を報告します。

<報告事項>

1) 校友会評議員会報告, 2) 歯学会評議員会報告, 3) 庶務報告, 4) 平成30年度一般会計中間報告（監査報告）, 5) 平成30年度共済積立金中間報告（監査報告）, 6) その他。最後に次期広島県歯科医師会会長に選出された甲野副会長に、会員を代表して有田和子会員（61回）よりお祝いの花束が贈呈されました。

<議事事項>

1) 平成29年度一般会計決算の承認を求める件（監査報告）, 2) 平成29年度共済積立金決算の承認



甲野副会長へ花束贈呈



講演する永田准教授

を求める件（監査報告）, 3) 令和元年度事業計画及び一般会計予算案の承認を求める件, 4) 令和元年度会費の徴収方法に関する件, 5) 役員改選の件, 6) その他の案件が上程され可決承認される中、次期会長に森田現会長、監事に高森 晃 会員（57回）と中川 淳 会員（69回）が再選されることに決定しました。最後に椿田直也県校友会副会長（67回）が閉会の辞を述べ、総会は終了しました。

<学術研修会>

永田和裕新潟病院総合診療科准教授（72回）を講師に迎え「ノンメタルクラスプと磁性アタッチメントを用いた審美義歯の臨床」と題して講演が行われました。すぐに日常の臨床に取り入れられる内容で、大変有意義な研修会となりました。その後、来賓を交えた出席者全員で記念写真撮影を行いました。

<懇親会>

荒川信介広島県歯科医師会会長、三反田 孝 同専務理事と永田准教授に来賓としてご出席いただき、能美和基県校友会理事（83回）の司会で最初に福傳龍司会員（90回）による、力強いリードで校歌斉唱を行いました。森田会長が挨拶を行い、3期6年の任期を務められた荒川県歯会長と三反田同専務理事に感謝の言葉を述べられ、花束の贈呈が行われると、出席者一同からはお二人に対して盛大な拍手が送られました。そして和やかな雰囲気各テーブルに話の輪が広がり、椿田副会長から閉宴の辞が述べられ、懇親会は終了しました。

（山田英太郎・72回記）

